

【第448回】

## ミノル化学工業株式会社

TDB企業コード：580467514 法人番号：4122001007215  
 所在地：大阪府東大阪市衣摺1-5-22  
 TEL：06-6728-3222 設立：1964年2月  
 代表：押川 新一氏  
 事業内容：ミノルキューブなどプラスチック製品の企画・販売  
 HP URL：http://www.minoru-net.com



今回ご紹介するのはプラスチック製のオリジナル製品やOEM製品の企画販売を手がけるミノル化学工業(株)。東大阪ブランド認定製品である主力製品「ミノルキューブ」やコロナ禍における今後の展望について、代表の押川新一氏に話を伺った。

### オンリーワン製品を生み出す

1959年創業の当社は、「すき間のオンリーワン！」を開発方針に掲げ、他社製品と差別化された製品開発に注力している。温度によって色が変わる「マジックグラス」「マジックカップ」のほか、ペットボトルの口に取り付け可能なジャバラ付きジョウロ・水差し・スプレアの「フレックス」シリーズなど、多彩なアイデア商品をラインアップしている。



ミノルキューブと代表取締役の押川新一氏

### 看板商品「ミノルキューブ」

当社の転換点となったのが、代表の子息と同じ幼稚園に通う子どもを持つ女性から、ドールハウス作品を保管するための良いケースはないかとの問い合わせを受けたこと。これがきっかけで現在の看板商品である「ミノルキューブ」が誕生した。

一般的なショーケースなどに見られる、台座に5面体のケースをかぶせるタイプの形状ではなく、コの字型の亚克力を2つ組み合わせて立方体ケースにすることで、スライドさせれば簡単に開閉できる全面クリアな仕様を実現。複数個を組み合わせることでコレクションケースとして活用できるなど、用途はアイデア次第で無限に広がる。

「ミノルキューブ」を拡販すべく代表が着目したのが、フィギュアやカプセルトイなどの販売を手がける大阪府内の模型販売会社だ。新聞記事で同社を知り、ショップを訪問して商品を紹介したところ、フィギュア店などでの販売が決まった。「ミノルキューブがあれば食玩も立派な作品に変わる」と、評価の声も上がったという。

また、メーカーに送付するダイレクトメールの開封率を上昇させるべく、「ミノルキューブ」をプレゼントボックスのようにダイレクトメールと

して発送したところ、送付先の約8割の企業と面談でき、2004年の全日本DM大賞では銅賞を受賞した。この賞の獲得によって、「ミノルキューブ」は新聞やテレビなどでも取り上げられ、東大阪ブランド製品の認定を受けた。その後、芸術大学の展示会で利用されたほか、アパレルブランドとコラボするなど、当社の看板商品へと成長した。

### 今後の展望

新型コロナウイルス感染拡大を受け、人工呼吸器での治療時に医療従事者を飛沫感染から守る「エアロゾルボックス」(OEM商品)を製作。また、超軽量でフリーサイズ、さらにシールド交換が可能な「HMフェイスシールド」を、ネットを中心に販売。一般企業や医療機関などからの要望に応じた製品の製作に携わり、現在引き合いが増えている。

今後は、「ミノルキューブ」のさらなる拡販を目指して博物館や美術館へアプローチを進めながら、顧客のアイデアや要望に応えるものづくりを行っていく。

(取材・文／調査第2部 西堂貴昭)